

HIV・性的自立・セクシュアリティ・・・支えあう学習会 ～ season3

Vol.1 セクシュアリティとメンタルヘルス

～生き辛さにいたる多様性を感じる

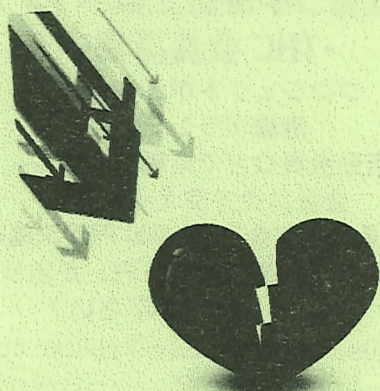
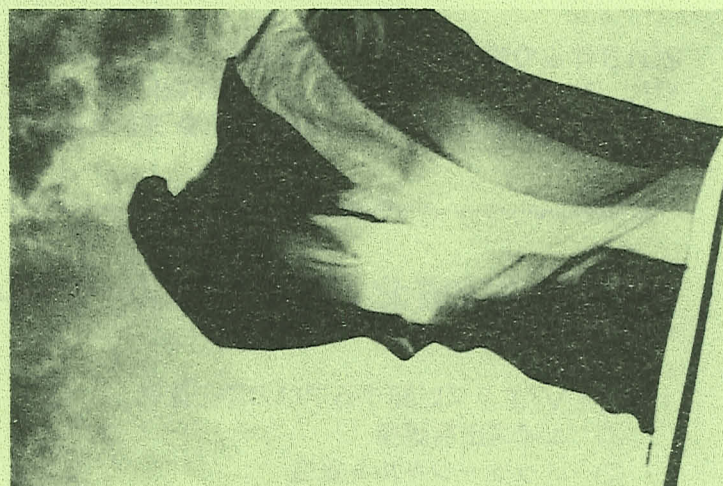
2015.4.18(土)18:30-21:00

@仙台市市民活動サポートセンター 研修室2

入場無料・カンパ歓迎・申し込みは不要です

問い合わせは、支えあう学習会専用アドレス
thc00sasaeau-study@yahoo.co.jp

ゲスト：ますみゆたかさん
「にじのころ」呼びかけ人



性的少数者の自死リスクは一般人口の6倍とも言われます。5%の人が6倍のリスクを持てば、自死の危機にある1/4にあたる人が性的少数者ではないかと推定できます。しかし、生き辛さを生む要因は、セクシュアリティのみならず家族関係、生育歴、将来への不安、いじめやパワハラ、性被害など多様であり、一人一人がそれぞれ個別の履歴を持ってメンタルヘルスが悪化していると考えられます。

そうした多様で個別な履歴の現実はどのようなものなのか、丁寧に見ていくことで、私たちは互いに支えあうことができるのではないのでしょうか。

首都圏で、LGBTでありながら精神疾患を抱える人達の集える場所を目指し活動している「にじのころ」から、ますみゆたかさんをお呼びして、そのような一人一人の実際を感じあえる場となればと思います。

LGBTだけでなく、この課題を共に考えて下さる方どなたでも参加していただけます。

主催：東北HIVコミュニケーションズ（THC）

- ◆ 協力：にじのころ、みやぎいのちと人権リソースセンター、一般社団法人プレスみやぎ、Anego
- ◆ 助成：LUSH ジャパンチャリティ基金

◆ますみゆたかさんプロフィール

恋人をエイズで亡くした事でうつ病を発症し、その後パニック障害や強迫性障害も経験。現在は症状が落ち着いているが通院中。自身の辛い経験からセクシュアルマイノリティと精神疾患の生きづらさをわかち合う自助グループ「にじのころ」を運営。



2013年より始めたHIV・性的自立・セクシュアリティ…支えあう学習会も、3期目：season3に入ります。今季も、3つのテーマと、関連する社会課題について、市民の皆さんとともに学んでゆけたらと思います。次回 vol. 2は、2015. 5. 31(日) 仙台市差別禁止条例を考える市民の会とのコラボ企画を予定しています。

◆こんにちは東北 HIV コミュニケーションズです。ふだんの活動内容を紹介します。

- 1 HIV/エイズに関する学びの場の提供
 - ① エイズ出前講座
 - ② メッセージキルト派遣
 - ③ ゲイによるゲイのためのHIV活動チーム「やろっこ」
- 2 HIV/エイズに関する支え合い
 - ① エイズ電話相談
 - ② ケアサポート事業
- 3 HIV/エイズ・セクシュアリティ・人権に関わる人材育成とネットワーク
 - ① HIVと共に生き共に学ぶ講座
 - ② 仙台市HIV性感染症対策推進協議会への参加
 - ③ みやぎいのちと人権リソースセンターへの参加
 - ④ よりそいホットラインへの協力

◆支えあう学習会企画ボランティア

・THC 会員募集中

プロジェクトボランティア

継続ボランティア

活動会員などで活動できます。

会員は会を支える存在。

支援会員A(年会費12,000円議決権有)と支援会員B(年会費6,000円)があります。

詳しくはメール下さい!

thc00sasaeau-study@yahoo.co.jp

◆よりそいホットライン

0120-279-226

365日24時間、どんな人のどんな悩みも、一緒に解決する方法を考えます

◆THCエイズ電話相談

022-766-8699

毎週土曜(お盆・年末年始を除く)
午後6時~9時

東北HIVコミュニケーションズ(THC)

HIV感染症/エイズによって自らの生命や生き方に影響を受けた人々が共に生きる社会をつくる

連絡先: 〒983-0836 仙台市宮城野区幸町4丁目7-2 みやぎいのちと人権リソースセンター内
FAX: 022-298-8532 E-mail: thc@silk.plala.or.jp
HP: http://www16.plala.or.jp/thc/

